

聴講生募集要項

2019年度 秋学期

京都情報大学院大学

2019年度 秋学期

聴講生募集要項

京都情報大学院大学では、開講科目の中から、必要な科目のみを選択の上、聴講することが可能です。

記

- 募集人員** 各講座若干名
- 聴講期間** 2019年10月1日（火）～2020年2月14日（金）
※補講期間を含む
- 聴講資格** ①4年制大学卒業生または専修学校の専門課程（修業年限が4年以上で、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）卒業生
②前号と同等以上の学力を有すると本学が認めた者
- 募集期間** 2019年9月1日（日）～2019年9月17日（火）
※募集期間終了後も、各科目の空席状況により、聴講いただける場合があります。アドミッションセンターまでご相談ください。
- 聴講手続** 以下の書類を募集期間末日までにアドミッションセンターへ書留郵便にて郵送または持参してください。（郵送の場合は期間末日必着）
1. **聴講生許可願**（本学所定のもの）
 2. **卒業（見込）証明書等**
出身大学学長または専修学校校長が証明したものを提出してください。
※聴講資格②の該当者は、聴講資格審査の項をご覧ください。
 3. **成績証明書**
出身大学または専修学校が作成し、厳封したものを提出してください。
※聴講資格②の該当者は、聴講資格審査の項をご覧ください。
 4. **選考料** 7,500円
※3ページに記載の選考料振込先に振込み、振込利用明細票の写し（A4サイズ）を同封してください。
 5. **合否通知用切手** 500円分

※ 聴講生の聴講期間は原則として1学期内となります。その後、継続を希望される場合には、再度手続が必要になります。

聴講資格審査

聴講資格②の該当者は、選考と併せて、聴講資格審査を実施するので、以下の書類を提出してください。

1. 聴講資格認定申請調書（本学所定のもの）
2. 卒業証明書 最終出身学校が証明したものを提出してください。
3. 成績証明書 最終出身学校が証明したものを提出してください。
4. 参考資料（任意）

聴講資格審査判定の際に審査の参考として提供できる資料（国家資格や外国語能力等を証する書面等）があれば提出してください。

選考方法

書類審査および面接試験を行います。試験日程は本人宛に通知します。合否結果は後日、本人宛に郵送します。

聴講料等

聴講登録料 12,000円

（前学期より継続して聴講する場合は、6,000円）

聴講料 24,000円（1単位）

聴講の許可を受けた後、所定の期日までに聴講登録料および聴講料を3ページに記載の口座にお振り込みください。

聴講場所

京都本校

京都情報大学院大学 百万遍キャンパス

京都市左京区田中門前町7

京都情報大学院大学 京都駅前サテライト

京都市南区西九条寺ノ前町10-5

札幌サテライト

北海道札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル7階

（株）デジック内

東京サテライト

東京都港区元麻布3丁目1-35 VORT 元麻布4階

（株）ヒトメディア内

留意事項

- （1）手続き完了者に聴講生証を交付します。聴講生証は、聴講期間終了時に事務室へ返還してください。
- （2）聴講生は聴講科目の試験の受験はできません。
- （3）聴講科目の単位認定は行いません。単位認定が必要な場合は科目等履修生の制度を利用してください。
- （4）本人の請求により聴講証明書を発行します。
- （5）聴講生は聴講が許可された期間、本学図書室、実習室を利用することができます。
- （6）聴講生には、通学証明書（通学定期券購入用）および学生割引証は発行されません。

選考料，登録料，聴講料振込先

三菱UFJ銀行 京都支店 普通預金 1203818

受取人： 京都情報大学院大学

書類提出先および問い合わせ先

京都情報大学院大学 アドミッションセンター（入学事務課）

〒606-8225 京都市左京区田中門前町7

TEL. 0120-911-122（フリーコール）入学相談専用

075-681-6332

FAX. 075-681-6335

E-mail:admission@kcg.edu

※ いったん受理した願書類および諸納付金は、原則として理由の如何を問わず返却しません。

※ 出願書類等に記載された個人情報は、KCGグループが厳重に管理し、①聴講生選考に関わる書類の送付・連絡先の確認資料、②聴講生選考時の選考資料として、利用いたします。それ以外の目的で利用することはいたしません。

※プライバシーポリシー

■基本方針

IT化が進む現代において、その意義が大きくなっている個人情報に関して、本学では、以下の基本方針に基づき、その取り扱いを行います。

1. 本学は、個人の尊重という理念に基づいて個人情報をとらえ、その取り扱いを行います。
2. 本学は、個人情報を適法かつ適正な方法で取得するものとします。
3. 本学は、収集した個人情報を、より効果的な教育実現のために適切に管理し、有為に活用します。
4. 収集した個人情報を当該個人の意思に反する漏洩・侵害行為などから徹底して保護します。
5. 個人情報に対する教職員・学生の意識の向上に努めるとともに、個人情報保護に関する規程を定め、組織的な体制づくりとその継続的な見直しを行います。
6. 本学は、個人情報の保護に関する法律、その他の法令を遵守します。

2019年度秋学期 履修科目一覧（聴講生）

No.	科目名	単位	科目分類	開講日 終講日	曜日	時限	授業回数	履修料	概要	備考
F5000	知的財産権法	2	講義	10月3日(木) ～ 1月23日(木)	木	4	15日 (15回)	¥48,000	情報ビジネスに使用するプログラム、データベースをはじめそのコンテンツ自体も知的財産権、特に著作権で保護される。この分野に携わる者にとって、知的財産権の知識は不可欠である。まず、前半の講義において、知的財産権とはなにかを説明し、ITにおける著作権法保護を判例などの具体例を挙げて理解させる。近年、日本政府では「知的財産立国」の実現を目指し、様々な施策を進めている。また、産業界や大学等の動向として、産学官連携推進事業、企業の知的財産戦略に対する意識高揚、大学発ベンチャーの起業化に連動する知的財産権の確保など、特許・実用新案を中心とした知的財産を取り巻く環境は大きく変化している。今後、知的財産権制度の有効活用は、日本経済の活性化に止まらず、企業や大学・研究機関において広範囲に重要な役割を果たすことになる。後半の講義では、「産業財産権」と呼ばれる特許権、実用新案権、意匠権および商標権に関する概説を行う。次に、具体的なビジネスの場面で、産業財産権はどのように関わってくるか、製造業、商社・サービス業と産業財産権の関わり方、企業の取り組み例として、職務発明の対価の決め方、ビジネスモデル特許の価値、ライセンス契約等に触れる。さらに、応用編として、知的財産権の管理はどのように行うか、侵害行為に対して、防衛のための法的手続きについて解説する。	講義は百万遍キャンパスにて行います。
G5100	ロジカルシンキング	2	講義	10月9日(水) ～ 1月22日(水) (日程注意)	水	3・4	8日 (15回)	¥48,000	創造的、革新的な企業で行われているロジカルシンキングの概要、基本的な考え方、各種ツールを、講義・事例および演習を通じて理解し、創造力を養成する。問題解決の一連の流れと基本的な考え方を理解し、ロジカルシンキングを活用した問題解決をチームで実践し、課題解決力、ファシリテーション力、リーダーシップを養成する。ロジカルシンキングの実践を通じ、説明能力を養成する。	講義は京都駅前サテライトにて行います。 日程： 10月9日(水)3限・4限 10月23日(水)3限・4限 11月13日(水)3限・4限 11月27日(水)3限・4限 12月11日(水)3限・4限 1月8日(水)3限・4限 1月15日(水)3限 1月22日(水)3限・4限 ※1月15日は3限のみ
SA000	次世代農業情報学	2	講義	10月2日(水) ～ 12月4日(水) (日程注意)	水	3・4	7日 (15回)	¥48,000	旧来の農業と異業界のシナジーによって実現する次世代農業「Smart Agriculture」が注目を集めている。Value Chain視点で、野菜の生産だけでなく、流通や消費のあり方を変革する「農業」のイノベーションであり、その中心にはITが深く関わっている。また、TPPを背景とした安心安全な野菜、グローバル輸出、社会の課題を商業的に解決するソーシャルビジネスといった複眼的な面もある。Smart Agricultureを推進する社団法人の取り組みを通じて、そのコンセプトや実現例を学ぶことが出来る。	講義は京都駅前サテライトまたは東京サテライトにて行います。 東京サテライトおよび札幌サテライトでも受講できます。 日程： 10月2日(水)3限・4限 10月16日(水)3限・4限 10月30日(水)3限・4限 11月6日(水)3限・4限 11月20日(水)3限・4限 12月4日(水)3限・4限 (一部は東京サテライト発連講義です) 上記日程とは別に農場見学日があります(詳細は後日連絡します)。
B5040	機械学習	2	講義	10月2日(水) ～ 1月22日(水)	水	2	15日 (15回)	¥48,000	まだまだ計算機が人間を超えることは難しいと思われていた囲碁の世界において、グーグルのAI「アルファ碁」が世界最強といわれる韓国の棋士に勝ったことなどにより、第三次人工知能(AI)時代がきたと世界の注目を集めている。この動きのコアは「機械学習(Machine Learning)」である。本科目では、「機械学習」の基本技術について講義すると共にプログラミング実習により実践力を身につける。「機械学習」は、人間の赤ん坊が徐々に物事を認識することから始めて、人間が概念を形成し学習・進化する過程をコンピュータ上で模倣する技術の総称である。そのようにしてコンピュータが学習した事柄から、新たな知見を人間が得ることを目的としている。機械学習の基本技術は、獲得できる情報量gain(「相互情報量(Mutual Information Contents)」)が最大になるように概念を形成する「概念学習(Conceptual Clustering)」、生命の進化過程や蟻等の社会的昆虫行動を模した高度な確率的探索過程を模した「進化的計算手法(Evolutionary Computation)」、脳の神経細胞網の情報処理プロセスを模した概念(パターン)を認識する過程を模した「三階層型ニューラルネットワーク(Neural Network)」とそれを多段階に拡張した「深層学習(Deep Learning)」、「並列処理プログラミング(Parallel Programming)」等の技術である。本科目ではその大要について述べると共に機械学習プログラミング能力の向上(主にC言語)を図る。	講義は百万遍キャンパスにて行います。
A5110	シナリオ・ストーリーボードینگ	2	講義	3月2日(月) ～ 3月6日(金) (日程注意)	集中講義	集中講義	5日 (15回)	¥48,000	システム開発には様々な手法があるが、最近ではUMLを用いたオブジェクト指向設計などが主流のようである。このUMLによる表現はシステムやプログラミングに疎いものでもエンジニアやプログラマーとコミュニケーションをとるときに有用で、視覚的・直感的にシステム全体や、動作の流れを把握することができる。このUMLと同じような役目として、映像作品の制作には絵コンテ(ストーリーボード)がある。これはカメラアングルや、コースアップなど、どのように画面に映るか、あるいはどのように映すべきかを考える設計図としての役割を持ち、クライアントや制作に関わる制作者の間でのコンセンサスを共有できる道具として有用である。この授業ではアニメーションを使って物事を説明するコンテンツや、ウェブサイトのページの遷移やそのアニメーション、また映像作品の絵コンテなど、さまざまな応用分野が考えられ、様々な角度から設計図のひとじとしての絵コンテおよびシナリオを考察していく。	講義は百万遍キャンパスにて行います。 日程： 3月2日(月)2限・3限・4限 3月3日(火)2限・3限・4限 3月4日(水)2限・3限・4限 3月5日(木)2限・3限・4限 3月6日(金)2限・3限・4限

講義時間：

1時限 9:30～11:00 5時限 16:50～18:20
2時限 11:10～12:40 6時限 18:30～20:00
3時限 13:30～15:00 7時限 20:10～21:40
4時限 15:10～16:40

冬期休業：2019年12月24日～2020年1月6日

補講・試験期間：2020年2月4日～2020年2月14日

京都情報大学院大学

※ 聴講料以外に、聴講生登録料が必要です。

※受付番号

聴講生許可願 (2019年度秋学期生)

区分 新規 継続

※区分に☑をつけてください。

作成日 年 月 日

写真貼付欄

1. 正面上半身脱帽背景なし
4cm×3cm
2. 最近3ヵ月以内に撮影のもの
3. 写真の裏面に氏名を記し全面糊付のこと

フリガナ			性別
氏名			男・女
生年月日	(西暦)	年 月 日	
現住所	〒 -		
	TEL() -	携帯	@
勤務先名		職種・役職	
勤務先所在地	〒 -		
聴講資格	大学 専修学校	大学 専修学校 学部 学科 専攻	(西暦) 年 月 ・ 卒業 ・ 卒業見込 ・ 3年次修了見込
	その他		
保証人 (保護者)	フリガナ		
	氏名		
	現住所	〒 -	
TEL() -			
聴講志望科目			
No.	科目名	No.	科目名
1		5	
2		6	
3		7	
4			

履 歴 (年数は西暦で記入してください)

学 歴		
(出身学校の学部・学科も記入してください)		
年	3月	高等学校 卒業
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
職 歴		
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	
年	月から	
年	月まで	

(履修資格②の該当者のみ提出)

京都情報大学院大学 応用情報技術研究科 ウェブビジネス技術専攻

履修資格認定申請調書

フリガナ		生 年 月 日 (西暦)	受付番号	受験番号
氏 名		年 月 日	※	※
現住所	〒 — Tel () — 携帯 メールアドレス @			
学会，社会等における活動，貢献，その他特記すべき事項				
年 月	事 項			
(西暦)				

※ 印は本人が記入しないこと。

京都情報大学院大学